

受付番号

# 横浜 アクションアワード

若者と地域団体の  
パートナーシップ活動を  
表彰する



YOKOHAMA  
ACTION  
AWARD



若者×地域で描く未来!!



2022年2月26日（土）13:00-17:00

横浜市役所1Fアトリウム&オンラインにて同時開催

- 13:00～ スタート
- 13:10～ **プレゼンテーション審査**
- 15:00～ 休憩
- 15:10～ **ドネーション交流会**
- 16:00～ 審査結果発表
- 16:30～ 交流タイム（17:00終了）

【主催】 NPO 法人アクションポート横浜

【後援】 社会福祉法人神奈川県共同募金会

社会福祉法人横浜市社会福祉協議会

横浜市政策局

【協賛】 社会福祉法人神奈川県共同募金会

SOMPO ケア株式会社

横浜中華街発展会協同組合

【協力】 横浜高速鉄道株式会社

【助成】 一般財団法人 YS市庭コミュニティー財団

# 横浜アクションアワードとは

横浜アクションアワードは、**若者と地域のNPOや団体がパートナーシップを組んで活動している事例**を多くの方に知ってもらい、広げていくためのアワードです。

このアワードは、**若者活動を応援する場、つながりが広がる場**です。そのため、受賞団体には賞金に加えて、アクションポート横浜による活動支援サービスが提供されます。また、当日参加者からも、応援したいプロジェクトに寄付ができる仕組みを設けています。

本日はみなさんに関心と応援をいただき、こうした活動をさらに飛躍させ、広げていく場にしていただきたいと思います。皆さん、よろしくお祈りします！

## アワードの参加の仕方

### 1 審査に参加ください！

一般参加者の皆さんにも審査員と同じ評価項目で審査に参加いただきます。会場審査は平均点が各団体の評価に反映されます。WEBよりプレゼンテーション審査終了の15:00までにください。

WEB審査はこちら▶



審査項目は以下になります。5段階の審査で、**最高評価が「5」、最低評価が「1」と**なります。

ビジョン性	活動を通じて目指したい社会像が明確か
継続性	継続可能な活動計画、運営体制が明確か
チャレンジ性	これまでにとらわれず、活動に新たなチャレンジがあるか
パートナーシップ性	参加若者同士、若者と地域で良い関係性が築けているか
波及性	活動が単発で終わるものではなく、地域に波及していくものであるか
若者らしさ	若者ならではの活動、独創性などがあるか

### 2 ドネーションで応援！

ドネーション交流会では7つの発表団体へ**1口600円より団体へ寄付**をすることができま  
す。（※手数料として100円をいただいております。）  
ぜひとも寄付で学生たちの活動を応援してください。

#### <対面参加の方>

寄付はお手元のカードに必要な事項と金額、団体への応援メッセージを記載の上、交流会時に寄付先の団体にカードをお渡しください。後日、記載内容を元にご請求致します。交流ブース中央に寄付カードがご置きます。2団体以上に寄付したい方はご利用いただけます。

#### <オンライン参加の方>

オンラインの方は下記のフォームより寄付が可能です。お支払いについては後日、こちらより請求をさせていただきます。フォームは何度入力いただいても大丈夫です。

ドネーションフォーム  
はこちら▶



審査の合計点が最も高得点だった団体



審査の合計点が次に高得点だった団体



ドネーションカードの枚数を最も多く受け取った団体



# プレゼン団体の紹介

【発表順】

- ①アワーズ学生チーム×神奈川地区センター
- ②フェリス女学院大学エコキャンパス研究会×緑園都市地域密着型カフェ「A.cafe」
- ③金沢区コミュニティFM設立委員会×金沢シーサイドFM
- ④知る、伝える。ボランティア×横浜市青少年育成センター
- ⑤サコラボ×NPO法人オールさこんやま
- ⑥千丸台団地学生チーム×NPO法人A.S.C.C
- ⑦学生団体Lucharis ×コココーラボトラーズジャパン横浜支店ほか



## WEBサイトにて各団体のPR動画を掲載しています

是非、WEBサイトより団体の活動のPRを確認ください！



▼WEBはこちら



# 審査員プロフィール

今回のアワードで審査員をつとめていただく皆様をご紹介します。

## 石井 直樹氏（石井造園株式会社）

2006年まで(社)横浜青年会議所に所属し、地域とまちづくりに奔走。2005年代表取締役就任以降は地域貢献を旨としたCSRを大切に造園工事業を営んでいます。（一社）神奈川県造園協会理事。横浜市造園協会監事。

## 倉田 真希氏（横浜市政策局男女共同参画推進課）

横浜市でジェンダー平等・男女共同参画の政策や事業推進に関する仕事をしています。プライベートでは小学生2人の子育て中。市職員として、親として、一人の大人として、若い世代の皆さんが多様な選択肢をもって自分らしく生きることができる社会づくりに日々思いを巡らせながら働き暮らしています。

## 小正 和彦氏（横浜市立みなとみらい本町小学校）

2005年横浜市で最初の民間人校長として採用。2018年横浜みなとみらい地区に新設した現任校では開校準備から携わり、「持続可能な開発のための教育（ESD）」を中核に据えた学校経営を進めています。

## 別田 果菜子氏（横浜市社会福祉協議会・横浜市ボランティアセンター）

横浜市ボランティアセンターでは、ボランティアをしたい人と、してほしい人をつなげるはたらきをしているほか、寄付の受け付け、企業の社会貢献の応援、こどもたちへの福祉教育などを行っています。

## 飯野 耀平氏（タウンニュース社）

株式会社タウンニュース社に入社し今年で6年目。3年前に中区・西区編集室の所属となり、横浜の中心エリアで取材・営業活動を行っています。情報発信をはじめ、地域のネットワークを活かして、異なるステークホルダーを繋ぐことで地域の活性化に貢献したいと考えております。

## 越智遥香氏、加藤心美氏（関東学院六浦高校の高校生）

関東学院六浦高等学校3年です。私たちは国連WFPを支援するユース団体に所属しています。この団体では、国連WFPから依頼を受けたチャリティー商品の開発・販売、募金活動・講演会や、貧困・飢餓とフードロスを繋ぐプロジェクトにも力を入れて活動しています。昨年に引き続き、今年もアクションアワードの審査員をすることができて嬉しく思っています。

# 当日の注意事項

- 感染防止対策のため、マスクのご着用をお願い致します。また、受付にて検温と消毒用アルコールを設置しております。交流会では密にならないよう、距離を保って交流して頂けますようお願い致します。十分な感染対策にご協力ください。
- 参加者の皆様が当イベントの様子を撮影いただくのは可能です。是非SNSでシェアしてください！ただし、発表スライド等に映る子どもや参加者の方のSNS等のアップロードはご遠慮ください。

## お問い合わせ



横浜アクションアワード

検索

TEL 045-662-4395

<http://action-awards.yokohama>

メール [info@actionport-yokohama.org](mailto:info@actionport-yokohama.org)